

令和4年度第1回福島県地域職業能力開発促進協議会 議事概要

1 日時 令和4年11月11日(金) 14時00分～16時20分

2 場所 コラッセふくしま 5階研修室

3 出席者 11名(欠席3名)

4 議題

(1) 報告事項

① 公的職業訓練の実施状況について

- ・福島労働局より説明 資料1、資料2
- ・福島県より説明 資料3
- ・機構福島支部より説明 資料4

【質疑応答】

- (石本委員) 資料2のマトリクスについて、求人倍率を業種別にだすことは可能でしょうか。
- (事務局) 求人倍率は職種別にはできますが、業種別には算出が難しいです。
- (石本委員) 求人倍率を業種別にでもだせれば、縦軸を就職率、横軸を求人倍率にとると面白いデータになるのではないかと思います。右上の方は就職率も求人倍率も高いので、是非やるべきですし、左下はどちらもニーズがない、左上の方であれば就職率は高いので、ある程度しぼってやればいい、右下の方であれば、研修内容を精査すれば就職率が上がってくると思いますので、そういった分析ができたならなお良いといった感想です。
- (事務局) 求人倍率という視点を加えることで複合的な分析ができ、より厚みができると考えられるため、検討させていただきます。

② 検証・改善を行う訓練分野の検証結果について

- 事務局よりデジタル分野の検証結果を説明 資料5

【質疑応答】

- (岩井議長) 私の方から確認だけさせていただきたいのですが、非常に大きな課題でありますけれども、公的な訓練の中での限界もあらうと思います。今回のデジタル分野での

公的訓練の対象となる訓練がどれかといった確認と、先ほどおっしゃった、IT人材育成に資するようなステップアップをしていくことが可能と思われる訓練科目がどれになりそうなのか、どんなことが想定できそうなのかを確認できればと思います。

- （事務局）IT分野の訓練コースが少ない中、昨年、求職者支援訓練でWebデザイン系の訓練にJAV A等プログラミングの知識を加えることでITに移行したケースがありました。現在は基礎的なコースが多いこともあり、情報処理系に直結するコースがないため、今後、プログラム若しくはデータサイエンスなどにつながるようなことも含めて、包括的に組み立てていきたいというのが現状です。
- （岩井議長）ある程度新しく創っていく、あるいは組み込んでいくという方向性が考えられるということによろしいでしょうか。
- （事務局）はい。

③ リカレント教育の取組等について

- 会津大学より「女性のためのITキャリアアップ塾」について説明 別添資料1

【質疑応答】

- （石本委員）受講者に対して何人ぐらい修了されているのか、ざっとどれくらいでしょうか。現在仕事をしていて、スキルを高めたいといった方は対象外ですか。
- （田中委員）年度によって違います。無職の方の就労や転職等を想定しています。
- （石本委員）公的機関がITの訓練を行う場合、かつてはパソコンの基礎でよかったです。これからはパソコン基礎はカルチャースクール等で行い、公的機関はもう少しレベルの高い訓練が必要かと思います。商工会でもDXを取り入れようと進めています。職場内のDXのほか、会員企業と連携したDXを考えていて、商工会の職員にDXの知識がないとできないところが課題となっています。田中委員から説明のあった訓練の半分程度のレベルの在職者訓練を取り入れてもらえると就職だけでなく、福島県の産業界全体の底上げにつながるのではないかと思います。
- （長尾委員）女性のデジタル人材育成に特化した講座となっていますが、参加者の年齢層・地域バランスはどうでしょうか。実際にこの講座を受ける際には、どの程度の基礎的素養を求めているのでしょうか。今後、男性の講座の予定はないでしょうか。

- （田中委員）P 9に年齢層・地域のグラフがあります。30代40代が多いということで、特に小さいお子さんをお持ちの方が多いです。プログラミングの初歩から学ぶため基礎知識は不要です。プログラミング知識のない方の受講の方が多く、そのような方々に対応できるカリキュラムとなっています。男性の講座は考えておりません。
- （長尾委員）プログラミング基礎を7ヶ月の習得期間ではITSレベル1に達するには難しいと思いますが、P 8に就労先の記載がありますが就労先ではこういった立場、仕事を想定していますか。
- （田中委員）そこまでのデータは収集していませんが、実践力で採用されることはないと思っています。企業では即戦力を求めているでしょうが、7ヶ月の訓練ではITSレベル1に達することは難しく、身につけた知識に経験を積んで成長させるようなポジションで採用していると思います。
- （長尾委員）私どもがソフトハウス等とお付き合いすることがありますが、ある程度のレベルであれば話ができますが、突っ込んだ内容となると難しくなります。ベンダーの提供しているサービスやシステムプログラム等の内容を理解できるレベルの人材となっているという理解でよろしいでしょうか。
- （田中委員）その理解で正しいと思います。
- （武田委員）公的訓練の場合、コロナ禍となってから通所からオンラインで学習できる制度となりましたが、福島県内ではなかなか進んでいない状況にあります。その中で、eラーニングを活用している訓練でとても良い内容のものだと思います。一方、eラーニングを1人で学習し修了するための工夫は何かございますか。
- （田中委員）eラーニングは遠隔のため1人で学習します。そのため受講を途中でやめてしまう方もいます。対策としては、受講生がお互いに情報交換できる既存のSNSサービスの使い方を紹介する講座も実施し、受講生同士で情報交換しあうことが最終的に修了率の上昇に影響を与えたように思います。1人よりも仲間がいれば、もうちょっと頑張ろうと思うようになると考えられますし、数字にも表れております。他に、スクーリングを実施するとその場で知り合いができるため、スクーリングも大きな要因になっています。オンラインのみの実施は個人的に良くないと思っています。最初のタイミングに集合型で訓練を実施する機会を設けた方が良いと思います。
- （武田委員）今後の事業の展開や、今のプログラムを今後拡充するなどの見通しを伺いたい

のですが。

- （田中委員）現状ではマンパワーが限界で、予算・人員が増えれば増やすことは可能です。応募者が定員の1.5倍程度ですが、応募者全員を受講させても修了率が悪くなりますし、単に受講生を増やせばよいとは考えておりません。

④ 民間職業紹介における人材ニーズ等について

- 株式会社サカイクリエートより説明 別添資料2

【質疑応答は特になし】

(2) 協議事項

令和5年度福島県地域職業訓練実施計画の策定方針（案）について

- 事務局より説明 資料6

厚生労働省から概算ベースで示された全国の計画数のうち、各県に振り分けられた数値を基に勘案した訓練規模数。

- ・求職者支援訓練（認定職業訓練） 1, 198人（前年度と同数）
- ・公共職業訓練（委託訓練） 1, 570人（前年度比4.2%増）
- ・公共職業訓練（施設内訓練） 760人（前年度比3.1%減）

【質疑応答】

- （有馬委員）この方針に沿って、次回、具体的な提案をいただきたいと思います。
- （安達委員）基本方針の（4）、デジタルの人材育成には、本当に力を入れて進めてもらいたいと思います。
- （事務局）まずは入り口のところで実施機関の確保が必要と感じていまして、その対策を進めていきたいと考えています。
- （石本委員）職業訓練をやるに当たっては、受講者の希望も大事ですが、就職に結び付かなければいけないということからすれば、企業が求める人材にさらに焦点を当てて、どのような訓練が必要か検証する視点が必要だと思います。
- （事務局）訓練は就職を目標に実施しておりますので、受け入れ先の確保を念頭に置きながら訓練コースの設定を行ってまいります。

- （岩井議長）この方針でやっていただきたいと感じていますが、検証作業の中であったように公的訓練としてできることには限りがある。その中で、資料でお示されたデジタル推進人材には、ビジネスアーキテクトから UI・UX デザイナーまで幅広い IT 人材が必要とありますが、これは単にプログラミングや Web デザインができる段階より数段階上のレベルになっていて、それを使って仕事をするためには、かなりビジネススタイルが変化することになり、まさにそれが DX と理解しています。デジタル推進人材が福島県の企業にとってどういう具体的な人材なのか。人材像、IT、技術のレベル感について、県・市・産業界・機構の皆さまと認識合わせをする必要があると思います。認識がかなりずれているような印象も受けています。一力所だけで解決するわけではないので、お互いが役割分担しながら連携していかないと福島県の DX は達成できないのではないかと危機感を持っています。この会の範疇を超えているかもしれませんが、何か意見交換する機会をどこかでつくれたら、ここでの検討の良い方向への視座になるのではないかと感じています。
- （事務局）そのとおりだと思います。その辺のすりあわせは大事だと思いますし、来年 4 月以降に対面でのヒアリング等もその一法として行っていきます。確かにずれは生じていると思いますので、解消して、訓練効果と就職口確保の両面につなげていければと思います。

◆ 協議事項をお諮りし、案のとおり了承される。

（3）その他

第 2 回の開催は、令和 5 年 2 月 20 日（月）を予定しております。